

## 公益社団法人 日本地震工学会 第11回理事会議事録

**A. 日 時**：2014年9月18日（木）17時00分から20時00分

**B. 場 所**：専売ビル 8F 大会議室（東京都港区芝 5-26-30）

**C. 出席者**：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 志波由紀夫，福和伸夫

（担当理事） 新海 元，副島紀代，佐藤正行，藤川 智，藤原広行，年縄 巧，  
小檜山雅之，久田嘉章，古屋 治，鳥井信吾，境 茂樹，片岡正次郎，  
塚本良道

（監 事） 五十嵐克哉

（欠 席） 山崎文雄，和泉信之，横井俊明，澤田純男，小林信之

オブザーバー出席：吹野美絵事務局長

### D. 提出資料

資料 11-01 第10回理事会議事録（案）（副島理事）

資料 11-02 会務報告（新海理事）

資料 11-03-1 会計報告（収支予算管理月報）（佐藤理事）

資料 11-03-2 会計報告（調査研究委員会予算執行状況）（佐藤理事）

資料 11-04 【メール審議】新入会員の承認について（副島理事）

資料 11-05-1 【メール審議】委託研究の受託について（副島理事）

資料 11-05-2 【メール審議】委託研究収支予算書／研究体制（新海理事）

資料 11-06 入退会者（片岡理事）

資料 11-07 共催・後援・協賛等（副島理事）

資料 11-08 委員会委員の委嘱（副島理事）

資料 11-09 強震データのクレジット決済の廃止について（新海理事）

資料 11-10 「理事会規則」の見直しについて（新海理事）

資料 11-11 「選挙規程」の見直しについて（藤川理事）

資料 11-12 第14回日本地震工学シンポジウムについて（塚本理事）

資料 11-13 兵庫県南部地震20年シンポジウム企画書（境理事）

資料 11-14 「学術フォーラム」共同声明（最終案）（志波副会長）

資料 11-15 将来構想委員会報告（志波副会長）

資料 11-16 事業企画委員会報告（鳥井理事）

資料 11-17 2014年度「監事候補」選挙スケジュール（案）（藤川理事）

資料 11-18 世界地震工学会議（IAEE）日本代表承諾書（横井理事）

資料 11-19 会誌編集委員会報告（久田理事）

資料 11-20 論文編集委員会報告（年縄理事）

資料 11-21 情報コミュニケーション委員会報告（小檜山理事）

資料 11-22 SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）資料（久田理事）

## **E. 議題**

### **E 1. 報告事項**

#### **1) 第 10 回理事会議事録（案）確認（副島理事，資料 11-01）**

副島理事より資料 11-01 を用いて「第 10 回理事会議事録（案）」について説明があり，本内容にて了承された。

#### **2) 会務報告（新海理事，資料 11-02）**

新海理事より，資料 11-02 を用いて，6 月 26 日～9 月 18 日までの会務報告がなされた。

#### **3) 会計報告（佐藤理事，資料 11-03-1～2）**

佐藤理事より，資料 11-03-1 および資料 11-03-2 を用いて，今年度 8 月末日までの予算執行状況が報告された。また，前回理事会の会計報告における損益予算書の指摘事項について，吹野事務局長から説明があった。

#### **4) 【メール審議】新入会員の承認について（副島理事，資料 11-04）**

副島理事より，資料 11-04 を用いて，8 月 14 日に発議された「新入会員の承認について（H26 年 7 月分）」のメール審議結果の報告がされた。

#### **5) 【メール審議】委託研究の受託について（副島理事・新海理事，資料 11-05-1～2）**

副島理事より，資料 11-05-1 を用いて，8 月 28 日に発議された「委託研究の受託について（日本ガス協会）」のメール審議結果の報告がされた。また，新海理事より，資料 11-05-2 により受託研究の収支計画と研究実施体制が説明された。

### **E 2. 議案**

#### **第 1 号 入退会者（片岡理事，資料 11-06）**

片岡理事より，資料 11-06 により「入退会者」の報告がされ，2014 年 9 月 18 日現在，新規入会者は正会員 4 名，学生会員 4 名，法人会員 2 社，会員資格復活者は正会員 1 名，逝去者は正会員 1 名が承認された。

以上の結果，個人会員数は，名誉会員 28 名，正会員 1,124 名，学生会員 113 名で，総数は個人会 1,265 名，法人会員 104 社となることが確認された。

#### **第 2 号 共催・後援・協賛等（副島理事，資料 11-07）**

副島理事より，資料 11-07 により，以下に示す後援(2 件)，協賛 (1 件) の報告があり，承認された。

- ・後援依頼：地盤工学会主催技術講習会「地盤・耐震工学入門講習会」  
(2014 年 9 月 19 日～20 日開催，主催：地盤工学会)
- ・後援依頼：第 2 回 首都防災ウィーク  
(2014 年 9 月 1 日～7 日開催，主催：首都防災ウィーク実行委員会)
- ・協賛依頼：第 3 回中部ライフガード TEC2015～防災・減災・危機管理展～

(2015年5月21日～22日開催，主催：名古屋国際見本市委員会)

**第3号 委員会委員の委嘱（副島理事，資料11-08）**

副島理事より資料11-08を用いて説明がされ，将来構想委員会，地震被害調査関連学会連絡会，原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会の委員の変更（所属の更新を含む）が承認された。

**第4号 強震データのクレジット決済について（新海理事，資料11-09）**

新海理事より資料11-09を用いて強震データのクレジット決済の廃止について説明がされ，運用によるメリットに対してコストが大きいことなどから廃止とすることが承認された。

**第5号 「理事会規則」の見直しについて（新海理事，資料11-10）**

新海理事より資料11-10を用いて前回（第10回）理事会で指摘された理事会規則（第16条）の修正案が提示され，承認された。

**第6号 「選挙規定」の見直しについて（藤川理事，資料11-11）**

藤川理事より資料11-11を用いて前回（第10回）理事会で指摘された選挙規定の修正案が提示され，改めて第1条，第4条，第13条，第19条，第20条，第21条について修正が承認された。また，11月の監事選挙公示後は選挙終了まで選挙規定の見直しができないことが確認された。

**第7号 JAEE Newsletter の発行回数について（小檜山理事）**

小檜山理事より，情報コミュニケーション委員会での議論に基づき，JAEE Newsletter の発行回数を現行の年4回（3月，7月，9月，12月）から年3回（会誌刊行と交互となるよう4月，8月，12月）に変更する件が提議され，承認された。

**E 3. 懇談事項**

**6) 第14回日本地震工学シンポジウムについての報告（塚本理事，資料11-12）**

塚本理事より資料11-12を用いて，本年12月4日～6日に開催予定の第14回日本地震工学シンポジウムに向けた運営委員会等の活動状況について説明があった。

**7) 兵庫県南部地震20周年シンポジウムについての報告（境理事，資料11-13）**

境理事より資料11-13を用いて，来年1月24日に日本地震学会・日本活断層学会と合同で開催予定の兵庫県南部地震20周年シンポジウム「地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッセージ -阪神・淡路大震災20年：地震関連科学の到達点と新たな決意」について説明があった。  
→JAEE Newsletter や JAEE News 等での広報で集客に注力することが確認された。

**8) 日本学術会議学術フォーラムで発表される共同声明について（志波副会長，資料11-14）**

志波副会長より資料 11-14 を用いて、本年 11 月 29 日に開催される学術フォーラム「東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう生かすか」における英文共同声明の最終案が説明され、承認された。また、当日の本会の活動報告は安田会長が行うこと、そのための説明資料（和文、英文各 A 4 @1 枚）を作成する必要があること、これら声明・活動報告を取りまとめた冊子の資料等購入費として日本学術会議に 3 万円を支払うことが説明され、承認された。

#### 9) 将来構想委員会からの報告（志波副会長，資料 11-15）

志波副会長より資料 11-15 を用いて、第 1 回将来構想委員会（2014 年 9 月 4 日開催）の報告があった。このうち若手中心の座談会の企画は年内に実施の上、報告記事を年明けの会誌に載せられるように企画することが確認された。

#### 10) 事業企画委員会からの報告（鳥井理事，資料 11-16）

鳥井理事より資料 11-16 に基づき、事業企画委員会の活動状況について説明があった。また、8 月 6 日に開催されたメディア交流会、9 月 11 日に開催された E-ディフェンス震動台見学会について実施報告があった。

#### 11) 選挙管理委員会からの報告（藤川理事，資料 11-17）

藤川理事より資料 11-17 を用いて、2014 年度「監事候補」選挙スケジュールについて説明があった。

#### 12) 国際委員会からの報告（横井理事，資料 11-18）

欠席の横井理事に代わり、安田会長より資料 11-18 を用いて、次期世界地震工学会（IAEE）日本代表を中埜先生に正式にお引き受けいただいたことが報告された。また、IAEE 事務局も芳村先生から楠先生に交代されたことが報告された。

#### 13) 会誌編集委員会からの報告（久田理事，資料 11-19）

久田理事より資料 11-18 を用いて、会誌編集委員会の活動状況が報告された。JAE Newsletter の発行回数が会誌刊行と交互となるよう年 3 回に変更されたことを受けて、情報コミュニケーション委員会との連携をより深めていくことが重要であることが確認された。

#### 14) 論文集編集委員会からの報告（年縄理事，資料 11-20）

年縄理事より資料 11-20 を用いて、論文集編集委員会の活動状況について報告があった。また、投稿審査システム導入計画について説明がなされた。導入計画については、関係理事で財務上・運営上の課題をクリアにした上で、システムの規模や導入時期について JEES 担当者とも調整の上具体案を作成し、次回理事会にて議論することとなった。

#### 15) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小檜山理事，資料 11-21）

小檜山理事より資料 11-21 を用いて、情報コミュニケーション委員会の活動状況について報

告があった。また、JAEE Newsletter と会誌の位置づけについて議論がなされた。

その結果、JAEE Newsletter の位置づけについて、下記の通り確認された。

- Newsletter は会員以外も閲覧可能→会員以外の「一般市民」にも会誌の内容を適宜紹介し、入会の呼び水とする
- ただし「一般市民」とは、専門知識の全くない人も含めた世間一般の「市民」を指すのではなく、あくまでも地震工学に興味を持ちそうな学生、社会人の技術者・研究者、行政の防災・土木・建築部局担当者といった（現在会員でない）方々を対象とする
- Newsletter と会誌の連携を深める

#### 16) SIP への公募採択について（久田理事，資料 11-22）

久田理事より資料 11-2 を用いて、前回（第 10 回）理事会にて報告された内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の公募が採択されたことが報告された。

次回予定：日時：平成 26 年 10 月 22 日（木） 17：00 より

場所：専売ビル 8F 大会議室

記録担当：総務理事 副島 紀代